

平成30年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	20	学校名	生駒高等学校
----	----	-----	--------

1. 取組名 幼稚園実習

2. 活動内容

2年生では総合学習、3年生では家庭科の授業の一環として、地域の壱分幼稚園をお願いをして、実習をさせていただいている。特に2年生は短い時間ではあるが、園児との遊びを通じて、交流・ふれあいを行っている。

3. 成果と課題

2年生においては、生徒は校外での実習として大変楽しみにしており、実習中は大変積極的に参加している。反面実習時に行う園児との交流内容を事前HRで考えさせるが、HR担任まかせのところもあり、クラス間で若干の差異が見られる。また実習内容も、自ら考え出すというより、幼稚園サイドからの要請に基づいた内容を行うことが多い。

一方3年生は、自らの進路選択の一つとして、幼稚園教諭や保育士を目指す生徒の集まりであり、自ずと実習にも力が入り、展開する遊びやゲームも、班別に分かれて自分たちで時間をかけて考案したものを取り入れている。総じて十分に自らの進路選択の参考となっていると考えられる。

4. 次年度に向けて

2年生の実習は、総合学習のまま現状で行われるが、再来年度は総合学習が教科探究として位置づけられるため、幼稚園実習そのものをどうするのか、検討しなければならない。また、回数が1回のみで終わっているため、楽しい思い出は残るが、ただ楽しかっただけで次の段階につながらないのが残念である。

一方、3年生の実習は家庭科の授業の一環として行うので、総合学習の影響もなく、今後も行っていきたいと考えている。また参加する生徒も、自分の進路実現の目的もあり大変意識が高く、教育効果が十分に発揮できていると考察できる。

